

運送セミナー

若年層の人材確保

中央経友会

協同組合中央経友会（鷲澤文治理事長）は4月17日、カワキタエクスプレス（三重県亀山市）の川北辰実社長を講師に招き、運送セミナーを開いた。トラック運送事業者を中心に関係企業の担当者が参加。「教育で人は変わらない！」社長の信念が証明した『人が

SNSを活用した採用活動を紹介するカワキタエクスの川北社長



辞めない組織』の作り方』をテーマに、若年層の人材確保について学んだ。

同社は、高校や大学を卒業したばかりのトラック運送業界未経験者にターゲットを絞った採用活動を展開している。TikTok（ティックトック）やインスタグラムといった画像・動画共有アプリによる求人

に重心を移したところ、広く拡散された「コンテンツ」の影響で全国から反応を獲得。その結果、多くの新卒人が入社し、従業員の平均年齢が下がった。

川北氏は「魅力のある会社には集まる。危険な仕事、劣悪な労働環境といつたイメージを払拭し、やりがいと誇りを持って働ける職場にしなくてはならない。経営者自身も含め、從

(原田洋一)

業員の幸せを求めるほかない」と強調した。

鷲澤理事長は、「2024年問題」で経営環境が厳しくなる中、ドライバー不足は深刻だ。一般企業でも、新卒人材の3割が3年内に辞職すると聞く。人が辞めない強い組織作りを目指してほしい」と呼び掛けた。